

RFIDを利用した在庫管理システム(概要)



1. 「RFID」の利用

「RFID」とは、電波を用いてタグのデータを非接触で読み書きするシステムです。バーコードでの運用では、レーザーなどでタグを1枚1枚スキャンするのに対し、「RFID」の運用では、電波で複数のタグを一気にスキャンすることができます。電波が届く範囲（半径約30m以内）であれば、タグが遠くにあっても読み取りが可能です。



【ハンディターミナル】
読取可能コード

UPC/EAN/JAN（アドオンコード対応）、CODE128、GS1-128、CODE39、Codabar（NW-7）、CODE93、ITF、COOP2of5、インダストリアル 2of5、QRコード、マイクロQR、DataMatrix、（ECC200）、PDF417、GS1 DataBar、合成シンボル、Postal

+

=



【RFID読取装置】



※実際の使用イメージ

ユニクロなど量販店で、買い物かごを置いたままで決済できる技術もこの技術を利用しています。

RFIDタグについて

「RFID」で使用するタグは、専用プリンタで印刷可能で、独自タグも生成可能。
また、RFID生成サービスもあり、用途に合わせたタグの作成が可能です。

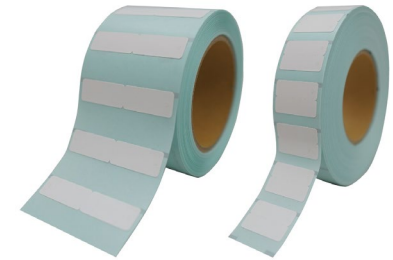
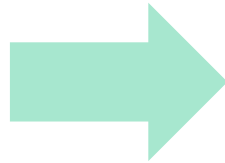
【RFIDラベル印刷】



ZQ520 RFID



※装着イメージ



※サイズ各種選択可能

上記は、医療用のサンプルです。
印刷されている内容が中ほどに薄っすら見えるRFIDに記憶されております。

2. 入庫業務改訂

RFIDを既存の在庫管理に導入するにあたり、入庫時のチェックにてRFIDのタグを各商品に対して添付・付与する必要があります。



個別管理としRFID管理番号で管理される。



RFIDタグ発行



商品に添付・付与する。

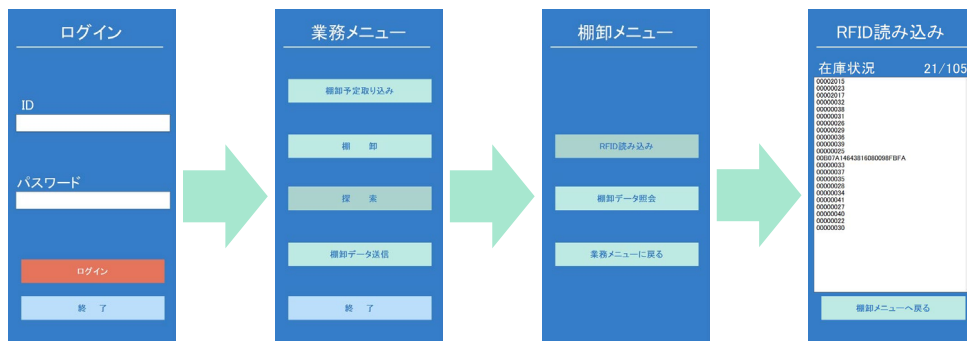


3.棚卸業務改訂

外側からのスキャンで、段ボールの中身全てを検知できます！！
棚卸はもう、段ボールを開けなくて大丈夫なんです！！



4.管理機能画面イメージ



お客様のニーズに合わせカスタマイズも可能。
 お客様ご利用の在庫管理システムへの連携も
 可能。(在庫管理システムも併せてのご提供
 も可能)

